



北海道有朋高等学校と高大連携に関する協定の調印式。村田校長(右)と新川学長(左) [関連記事7ページ]

大学基準協会による 「大学基準適合認定」を受けて



学長 新川 詔夫

本学は昨年、(財)大学基準協会による大学評価(認証評価)を受け、大学基準に適合していると認定され、2011年4月1日付で無事「大学基準適合認定証」および「認定マーク」が付与されました。本学の教育研究上の質が保証されたわけで、まずは一安心です。

2002年の学校教育法の改正で、大学は認証評価機関による第三者評価を受け、その結果を公表することが義務付けられています。また、認証評価は各大学を対象に7年周期で実施され、本学は過去2回の認証評価を受けていますから、今回は3回目です。米国では基準に達しない多くの大学(と称する)学校による学位の販売(degree mill)問題を解決し、大学の質保証を行うために導入された制度ですが、日本の認証評価も同様に、大学の教育研究水準の維持向上がその目的です。

本学は、全学評価分科会及び専門評価分科会からは、ほぼ全項目で4段階(A~D)のB評価を受け、大きな不可はありません。本学全体では、薬用植物園の「北方系伝薬物研究センター」における北方薬物等

に関する遺伝子バンクやデータベース化を通した新規薬物開発事業がユニークで高く評価されました。一方、課題として助言を受けた項目に、研究科における成績評価基準の明確化、学位審査・授与の手続き上の改善、国際交流活動の促進などがあります。前二者の改善事項は、直ぐにでも改善可能なものですが、国際交流活動の促進については、中長期的な取り組みが必要です。本学の教育理念・教育目標に「地域社会ならびに国際社会への貢献」、学部教育目標に「国際的な視野で活躍できる能力を養う」、「国際的に貢献しうる学識と行動力を涵養する」と謳われていますし、将来のグローバルな医療を考えると、全学部における国際化は避けて通れないと考えます。次回の大学評価(認証評価)受審は、2018年度です。それまでに、上記の課題はぜひ解決し次回はA評価を獲得したいものです。



CONTENTS

大学基準協会による「大学基準適合認定」を受けて	1
教員役職者・新任教員・昇任教員紹介	2
歯科医療最前線	3
国家試験結果報告	4
就職状況結果報告	5
2011年度入試結果報告 新入生オリエンテーション	6
東日本大震災の被災地へ医療スタッフを派遣 高大連携協定を締結	7
私の学生時代	8
OB訪問 [心理科学部臨床心理学科]	9
学校法人東日本学園 ○2010年度決算 ○2011年度予算	10
新入生アンケート結果報告 EDITOR'S NOTE	12